

## ■シンポジウム「法整備支援へのいざない」を開催しました

法務総合研究所国際協力部は、令和元年6月29日（土）、公益財団法人国際民商事法センター（ICCCLC）、慶應義塾大学大学院法務研究科、名古屋大学大学院法学研究科・法政国際教育協力研究センター（CALE）との共催により、シンポジウム「法整備支援へのいざない」を開催しました。

このシンポジウムは、大学生や法科大学院生、若手法曹等の方々に、法整備支援活動の内容を御紹介するとともに、この分野に携わっていくためのキャリアパスについて考える機会としていただくことを目的として開催しました。

シンポジウムでは、第1部として、当部の村田邦行教官と氷室隼人教官から、法整備支援の概要についての導入講義を行った後、第2部として、JICA長期派遣専門家としてラオスに派遣され、ラオス民法典起草支援で御活躍された石岡修弁護士に「法整備支援の魅力～ラオス民法典起草支援の経験から～」と題して基調講演をいただきました。



【第1部導入講義（氷室隼人教官）の様子（大阪会場）】



【第1部導入講義（村田邦行教官）の様子（東京会場）】



【第2部基調講演（石岡修弁護士）の様子（大阪会場）】

第3部では、ラオス民法典起草ワーキンググループに参加されたラオス外務省職員のスッチャイ・ワンナシン氏のプレゼンテーションや、ラオス民法典成立後の課題について、川嶋四郎同志社大学教授，松尾弘慶應義塾大学大学院法務研究科教授及び大川謙蔵摂南大学法学部法律学科准教授によるトークセッションが行われました。



【第3部プレゼンテーション（スッチャイ・ワンナシン氏）の様子（大阪会場）】



【第3部トークセッションの様子（大阪会場）】

さらに、第4部では、法整備支援の分野でのキャリアパスに焦点を当て、『これから法整備支援に携わる人へのアドバイス』とのテーマで、JICA長期派遣専門家としてミャンマーへ派遣された御経験を有する中島朋子弁護士、JICA産業開発・公共政策部ガバナンスグループ法・司法チーム職員の齋藤友理香氏からお話をいただきました。



【第4部プレゼンテーション（中島朋子弁護士）の様子（大阪会場）】



【第4部プレゼンテーション（齋藤友理香氏）の様子（東京会場）】

今回のシンポジウムは、東京と大阪の2会場をテレビ会議システムで接続して開催いたしましたが、当日は、両会場合わせて134名（大阪会場93名，東京会場41名）の方々に御参加いただき，盛会となりました。